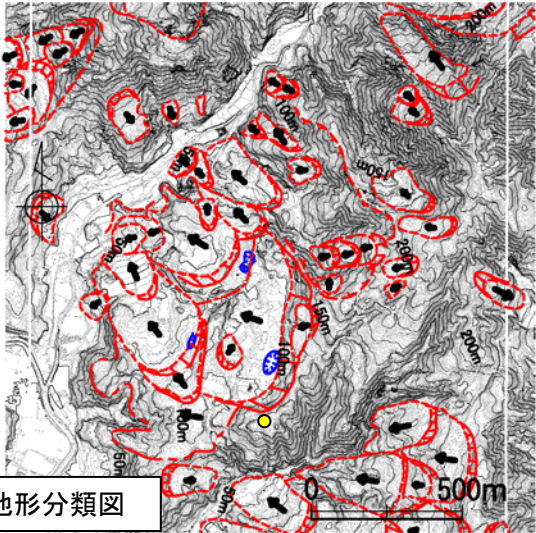
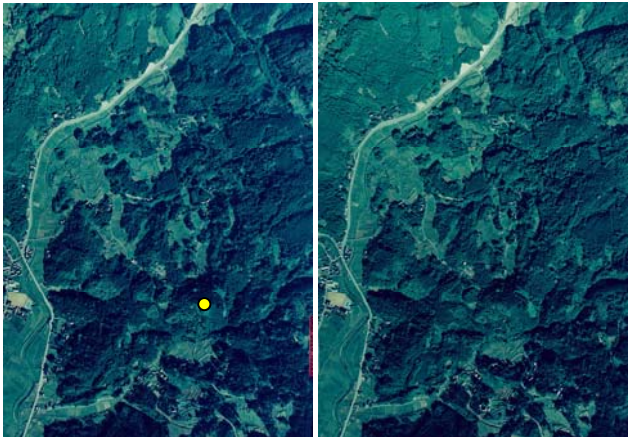


作成日：2009年1月16日（改訂日：2009年8月17日）

総図名	七尾	1/2.5万図名	門前
対象地点の中心	北緯 37° 18' 34"	東経 136° 48' 25"	Area F(3)

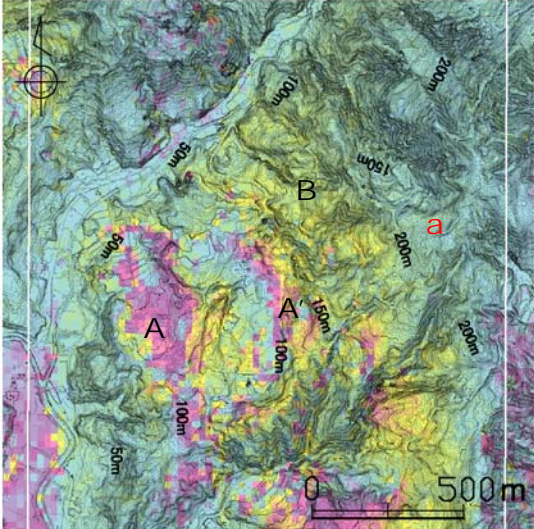
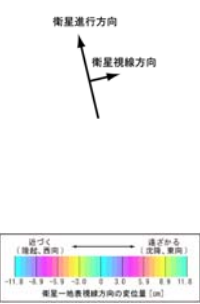
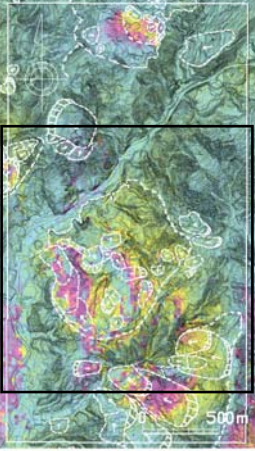
 <p><b>地形分類図</b></p> <p>背景の等高線は北陸電力株式会社測定の航空レーザ測量データによる。</p>	<p>空中写真</p>  <p>● 地形分類図と空中写真との同一地点</p>
---	--

SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m

撮影年月日：2007年2月23日～2007年4月10日

解像度：(FBS)/FBD (2007年2月23日) / (FBS)/FBD (2007年4月10日)

衛星の視線方向 (西側上空から東向き) / 東側上空から西向き

	 <p>衛星進行方向 衛星視線方向</p> <p>色づき (西向き) ← → (東向き) 色づき (西向き) ← → (東向き) 衛星-衛星視線方向の相変位 [m]</p>  <p>背景の等高線は北陸電力株式会社測定の航空レーザ測量データによる。</p> <p>Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI</p>
---	--

備考：

開析された地すべり移動体内の小移動体

①干渉縞：明瞭，北西部はやや明瞭

②視線方向の色変化：(馬蹄形変動の東側の無変化の青色部分 a を基準に東から西へ向かって)  
青→赤→黄色

③移動方向：西へ近づくないしは隆起

開析された地すべり移動体の内部に複数の小移動体が分布する。干渉縞は2箇所 (SAR干渉画像のA, A'地点) に分かれて認められ，これら小移動体の一部とほぼ一致する。また，対象地点の北東方 (SAR干渉画像のB地点) では，開析された地すべり移動体内の全域で，東から西へ向かって青→黄色の変化が見られる。よって，対象地点の地すべり移動体は変動量に差があるものの，全体として西向きへの変動があったものと考えられる。

作成日：2009年1月16日（改訂日：2009年8月17日）

総図名	七尾	1/2.5万図名	門前
対象地点の中心	北緯 37° 18' 12"	東経 136° 48' 32"	Area F(4)

<p>地形分類図</p> <p>背景の等高線は北陸電力株式会社測定の航空レーザ測量データによる。</p>	<p>空中写真</p> <p>● 地形分類図と空中写真との同一地点</p>
--	---------------------------------------

SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m

撮影年月日：2007年2月23日～2007年4月10日

解像度：(FBS) / FBD (2007年2月23日) / (FBS) / FBD (2007年4月10日)

衛星の視線方向 (西側上空から東向き) / 東側上空から西向き

	<p>衛星運行方向</p> <p>衛星視線方向</p> <p>背景の等高線は北陸電力株式会社測定の航空レーザ測量データによる。</p> <p>Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI</p>
--	---

備考：

開析された地すべり移動体内の小移動体と周囲の斜面

①干渉縞：明瞭

②視線方向の色変化：(滑落崖の東側の無変化の青色部分 a を基準に東から西へ向かって)  
青→黄→赤色

③移動方向：西へ近づかないしは隆起

判読された東部の地すべり移動体の滑落崖東側尾根と斜面末端の谷との間（SAR干渉画像のA地点）で、西向きへの移動が認められる。特に中央部の小移動体で移動が顕著である。よって、この小移動体を含む広い範囲の地すべり移動体が西向き成分を有して移動したことを示すと考えられる。また、南部の地すべり移動体（B地点）でも同様である。